

横浜市立横浜市立中田小学校
平成28年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

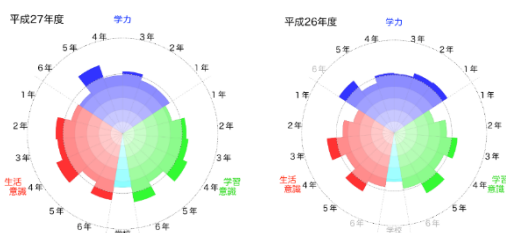
学校経営中期取組目標
<p>○子どもの自己肯定感、成就感、所属感を高めながら、「明日も来たくなる学校」にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの思いや考えを紡ぐ授業づくりを推進し、自己表現と相互交流の意欲を高めながら学力を向上させます。 ・ 一人ひとりが自己肯定感をもち、すすんで人とかかわりながら学校生活を楽しめるようにします。 ・ 地域の材を活用した子どもにとって魅力ある活動づくりをし、人との豊かなかかわりをとおして、中田のまちへの愛着を深めさせます。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組		
確かな学力 (学習指導)	一人ひとりの思いや考えを醸成する過程を大切にし、意見交流を重視した授業を展開して、思考力・表現力を高める。	①国語科を核とした、考えを出し合い高め合う授業の工夫 ②思いや考えを醸成するための学習活動、教材、資料やワークシート等の工夫 ③子どもの学習意欲を高め、個の発想や成果を交流する教室環境・校内環境づくり ④指導体制、学習集団、学習活動の多様化		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">担当</td> <td style="padding: 5px;">学力向上</td> </tr> </table>	担当	学力向上		
担当	学力向上			

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析



全体的に、横浜市の平均的な学力である。また、学習意識、生活意識ともに、横浜市の平均とほぼ一致している。

勉強が好きである、と答える児童が、学年が上がっていくごとに減少している点、授業で自分の考えをよく発表している、と答える児童が3割程度である点などから、より児童の興味・関心を高める、魅力ある授業づくりが望まれる。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：市平均とほぼ同じ程度の学力を発揮、学年ごとの偏りも低い
- 算数科：市平均とほぼ同じ程度の学力を発揮
- 社会科：市平均とほぼ同じ程度の学力を発揮、学年ごとの偏りも低い
- 理科：市平均とほぼ同じ程度の学力を発揮、学年ごとの偏りも低い

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学校全体として、横浜市の平均とほぼ同じ程度の学力を発揮している状況が、どの学年においても見られる。学習意識調査から見ると、学習が好き、どちらかと言えば好きと感じている児童の割合も、全体で約8割と高い。家庭での学習の時間が短いこと、基礎問題で市平均に達していない教科・学年があることなど、状況の改善が必要である。また、学校の授業が「よく分かる」と答える児童の割合が増えた一方で、「半分くらい」「ほとんど分からない」と答えた児童の割合が減っていない点から、個に応じた指導を充実させ、引き続き授業改善に取り組んでいく必要がある。

3 平成28年度 学年・教科等としての具体的取組

○第1学年○

- ・国語科等の授業を通し、自分の思いや気持ちを書いたり、話したりする表現活動を充実させる。
- ・話し方、聴き方など、学習の基礎・基本を定着させる。

○第2学年○

- ・国語科等の学習を通し、事柄の順序を考えながら、文章を書いたり、思いや気持ちを話したりする表現活動を充実する。
- ・自分の調べたことや考えを、思いをもって相手に伝えられるようにする。

○第3学年○

- ・国語科の学習等を通し、調べたことや分かったことを順序立てて相手に分かりやすく伝えられるようにする。
- ・相手や目的に応じた言葉づかいで話せるようにする。

○第4学年○

- ・国語科の授業等を通し、自分の考えや調べたことを、理由や事例を取り入れて話したり、書いたりする。
- ・相手や目的に応じた言葉づかいで、筋道を立てて話せるようにする。

○第5学年○

- ・相手や場に応じた適切な表現方法で、自分の考えや調査したことを伝えられるようにする。
- ・国語科の授業等を通して、互いの意見を伝え合うための話し合い活動の場を充実させる。

○第6学年○

- ・これまで身に付けた様々な表現方法を生かし、自分の考えや調査したことを効果的に伝えられるようにする。
- ・教科、領域を通じた話し合い活動の場を充実させ、互いの意見を積極的に交流し、広げたり深めたりすることができるようにする。

○個別支援級○

- ・各教科・領域の学習の中で、健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションの基礎的能力に関すること等について配慮し、個別指導を行う。